

世界の国々の子どもたちと 日本語で交流をしませんか？

海外で日本語を学ぶ学校の生徒と引率する教師が来日し、
日本校を訪問して、同世代の日本の生徒と日本語を通じて異文化交流を行います。
また、海外校来日の前後にも、オンライン交流および講座を実施します。



対面交流

オンライン交流

博報堂教育財団 日本語交流プログラム 第13回 日本参加校募集!!

エントリーシート受付期間：2022年5月16日(月)～6月15日(水)

応募申請書受付期間：2022年5月16日(月)～7月29日(金)

海外校来日期間：2023年5月13日(土)～5月23日(火)<予定>

※ ただし、日本校の参加日程は、下記実施内容に記載の学校訪問日のみ

オンライン交流期間：2022年12月～2023年6月頃<予定>

海外校来日交流：海外校が日本校を訪問する対面での交流活動

- ・ 学校訪問 (2023年5月17日～5月19日の3日間を予定)
- ・ 対面交流プログラム (ホームステイを行う場合があります)

日 本 参 加 校：中学校2校程度

—— プログラムに参加するための費用を助成します ——

- ・ 日本語交流プログラム内の活動費 (交通費・保険等を含む)
- ・ 海外校受け入れのために必要な諸経費
- ・ 海外校とのオンライン交流の推進にかかる費用

日本語交流プログラムとは？

日本の中学生が、様々な国の同世代の生徒と、日本語で交流を行います。

交流を通じて、それぞれの国の生活や文化の多様性を知り、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深めます。異文化共生への気づきの場を提供し、「文化の異なる人と、社会的課題などの目的に向かい、ともに行動できる人」の育成を目指す事業です。

本事業では、世界で日本語を学ぶ生徒を海外10カ国程度から招聘し、日本で交流を行うプログラムを実施してまいりました。2020年から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、こういう状況においても日本と海外の生徒が交流できる機会を確保するために、これまでの対面型の交流に加え、オンラインでも交流が可能なミックス型のプログラムを導入し実施いたします。

プログラムの内容は？

日本語交流プログラム

日本の中学生と10カ国程度の海外の生徒が、日本で交流するプログラムです。海外校の生徒と、様々なプログラムを通して交流することで、文化の多様性やコミュニケーションの難しさや楽しさを体験します。これにより、異文化共生能力向上へのモチベーションを醸成します。

＊この事業は、学校単位での参加となるため、この事業に参加できる日本の中学校を募集します。

【第13回 日本語交流プログラムについて】

感染症の拡大状況等により、当プログラムの全てまたは一部を中止／延期することがあります。

状況に応じて、以下のいずれかの方向での実施を準備中です。

来日プログラムが実施可能な場合

感染症対策に十分留意した上で対面交流の実施、加えて、来日プログラムの前後にオンライン交流を実施

来日プログラムを延期とする場合

来日プログラム実施までの間は、オンライン交流のみの実施

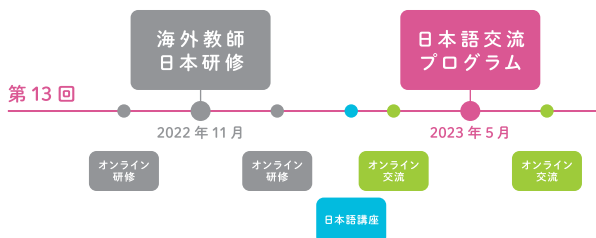
オンライン交流においても、文化の多様性・コミュニケーションの難しさや楽しさを感じることができ、異文化共生能力の涵養に繋がります。

海外教師日本研修

「日本語交流プログラム」をより多いものにするため、プログラムの実施前年には、引率する海外教師を日本に招いて事前研修を行います。また、この研修の前後には、オンライン研修を行います。

プログラム実施スケジュール（予定）

対面交流とオンライン交流を組み合わせ、継続的な交流が可能となっています。対面交流が実施できない場合でも、オンライン交流のみで多様な文化の海外校と交流を行います。



オンライン交流に関する情報を載せたウェブサイトをご用意しています。ポイントやコツ、交流事例を分かりやすく紹介していますので、ぜひご覧ください。

Hakuhodo Foundation **にほんご** ネット

<https://hakuho-nihongo.net>



このプログラムの詳細については、右記当財団ホームページをご覧ください <https://www.hakuhodofoundation.or.jp>

博報堂教育財団

search

公益財団法人 博報堂教育財団 / Hakuhodo Foundation

〒100-0011 東京都千代田区千代田二丁目2番3号 日比谷国際ビル14階 TEL03-6206-6266 FAX03-6206-6582

主催 公益財団法人 博報堂教育財団 後援 文部科学省

博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation